

令和3年度

# 教育行政執行方針

令和3年3月

中川町教育委員会

令和3年中川町議会第1回定例会にあたり、中川町教育委員会としての教育行政の執行に関する主要な方針と施策の概要を申し上げ、議会議員各位並びに町民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大したこの1年、小中学校の臨時休業、社会教育・社会体育施設の休館、各種事業・行事の中止、生涯学習活動の自粛など、これまでに私たちが体験したことのない状況が続くなかで、小中学校、そして中川町の教育行政の運営に、多くの地域の方々、そして町内外の事業者の皆様には、物心両面から温かいご支援をいただきました。ここで改めて感謝を申し上げます。

AI、IoT等の最先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety 5.0時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものが劇的に変わろうとしています。また、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきたことが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により現実のものとなっています。

このように急激に変化する時代の中で、学校教育には、一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

これらのことから、学校教育と社会教育、そして地域と連携して取り組んでいる「ふるさと学習プロジェクト」の新たな展開として、「君の夢応援プログラム」事業に取り組み、子どもたちにふるさと中川に誇りと愛着を育てるとともに、夢や希望を膨らませ、将来の生き方や進路を選択する能力を養い、様々な社会変化にも果敢に挑戦し、新しい時代を力強く切り開いていく力の育成を図ってまいります。

義務教育9年間を通じて、各教科の系統性を持たせた教育活動の蓄積により、「学力、生活力ともに、どんな環境でも生き抜く力」の育成を目指し、小中一貫教育を推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、学校、家庭、地域、関係機関などと連携して取り組むとともに、「学校の新しい生活様式」に基づく教育活動を進め、児童生徒一人ひとりに対する「学びの保障」に取り組んでまいります。

総合教育会議における議論などを通じて、第2期中川町教育大綱（平成31～令和5年度）の基本目標である「豊かな文化と人の育みを実感できるまち」の実現を目指し、「ひとづくり・地域づくり・まちづくり」につながる生涯学習社会の構築に努めてまいります。

以降、令和3年度の重点的な取り組みについて申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

## 【豊かな文化と人の育みを実感できるまち】

### ◆健やかなからだづくりとスポーツ活動の普及

人生を健やかに過ごすためには、からだところろの健康が大切です。高齢化社会が進む中、また昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、健康に対する意識はさらに高まっています。一人ひとりが正しい知識のもとに、自主的かつ日常的に気軽に楽しみながら健康づくりを進めることができる環境、そして機会を設けてまいります。

本町では人口減少が進んでいるものの、多世代でスポーツ活動が盛んです。スポーツ活動は、からだの健康、そしてところろの健康にも大きく寄与すると考えており、多世代で、楽しみながら無理なく体力づくり・健康づくりが行える軽スポーツの普及を進めてまいります。

また、青少年にとってスポーツ活動は、体力の向上とともに、他者を尊重し協働する精神、公正さと規律を尊ぶ態度を培うなど、人格形成に良い影響を与えます。スポーツ少年団の活動、中学校の部活動については、限られた種目であるものの素晴らしい成績をおさめており、限られた人数であっても、小学校から中学校まで活発かつ継続的にスポーツができるよう、町内の指導者との連携体制を検討してまいります。

新型コロナウイルス感染症対策のひとつである「密を避ける」取り組みとして、スポーツ活動、体力づくり活動の場の分散について関係団体

と検討を行い、生涯学習センターちやいむアリーナの活用など、スポーツ活動、体力づくり活動の場の多様化をさらに促進してまいります。

スポーツ活動・健康づくり・体力づくりの事業推進にあたっては、総合型地域スポーツクラブ「なかがわスポーツくらぶ」と連携し、幼児から高齢者までの体力に応じた各種教室を開催するとともに、コーディネーショントレーニングの普及をさらに進め、児童生徒の運動能力・学習能力や集中力の向上、生活習慣の改善、さらに、中高年者の健康体力の維持増進を図ってまいります。

#### ◆地域文化の振興と社会教育の充実

##### 1 地域文化の振興と社会教育の充実について申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町民文化祭舞台発表をはじめ、多くの文化芸術事業及び社会教育事業が中止となりましたが、生涯学習センターちやいむをはじめ、社会教育施設は様々な感染症対策を行ってまいりました。これまで蓄積された学びを止めないよう、本年度につきましては、「新しい生活様式」のもと、感染症防止に十分に配慮し、町民の皆様の文化芸術活動の機会を確保し、地域の歴史に根づいた中川文化を振興するとともに、関連団体及び人材の育成を支援してまいります。

各文化団体・サークルともに高齢化・少人数化が進んでいる中、新型コロナウイルス感染症対策で、長期にわたり活動を休止した団体もございました。感染症対策をとったうえで、自主的な活動、人材育成活動を支援し、個人や各団体がつながりをもって活発に活動できるよう支援してまいります。

また、学習成果の発表の場である町民文化祭についても、十分な感染防止対策をとりながら、各団体・サークルをはじめとした町民の皆様との協働により実施し、中川の芸術文化の振興と向上を図ってまいります。

高齢者学級ポンピラ塾におきましては、特に感染防止に留意しながら、塾生と話し合いながら、引き続き、町内外での研修や創作活動を行い、小中学校との異世代の交流を深め、ふるさとの歴史・知恵を継承する活動を行い、生きがい・健康づくりにつながる学習を推進してまいります。

## 2 歴史と文化遺産の継承について申し上げます。

エコミュージアムセンターでは、新型コロナウイルスで外出が制限される中、WEB上にVRミュージアムの作成を進め、各々が自宅にいてもエコミュージアムセンターを見学できるよう整備してまいりました。本年度においても、これまでの地域づくりにつながる博物館活動に加え、中川町の自然・歴史などのデータのデジタル化を推進し、町内外へ情報

発信するとともに、デジタルアーカイブとして後世へ伝えるための取り組みを進めてまいります。

また、感染防止にも十分配慮しながら、化石をはじめとする中川町の地域財産を媒介として、住民の皆様とともに地域間交流を進めてまいります。

#### ◆明日を担う人づくり

##### 1 生涯学習の推進について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に終始したこの1年、生涯学習活動についても、各種事業の中止、生涯学習団体の活動中止・自粛など大きな影響がでました。これまで蓄積してきた学びを止めないため、また、今後の学びの保障のため、この1年間、各施設で感染症対策を施してきました。本年度は、感染防止対策を十分にとったうえ、生涯学習センターちやいむを拠点として、家庭・学校・地域との連携を通じて、幼児から高齢者まで各世代のニーズに応える学習機会の提供や学習活動の支援を行い、そして、家庭及び地域の教育力の向上に取り組んでまいります。

放課後児童クラブは、家庭、学校に次ぐ、子どもたちの生活・成長の場であります。読書・学習や創作活動、遊びを通じた体力づくり、地域

の文化・伝統や季節毎の様々な体験活動に取り組むとともに、電子メディアに触れる時間を減らす取り組みである「中川スライド30」を夏休み、冬休みの「わくわく体験教室」の中で実施し、十分な感染症対策を行ったうえで、子どもたちの健全育成に努めてまいります。

引き続き、社会教育委員及び関係機関とともに、生涯学習団体及び町民の皆様と連携し、「新しい生活様式」を定着させ、生涯学習のまちづくりの推進に努めてまいります。

## 2 学校教育の充実について申し上げます。

小中学校では、コロナ禍においても、学びを止めない、児童生徒の学びの機会の保障のため、各校長のリーダーシップのもと教職員が一丸となり、小中学校が連携して、細やかな感染症対策を実施してきました。

また、登下校時の児童生徒の安全については、各学校そして地域の方々と連携し、「中川町通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の安全点検、子ども110番の家など、交通安全指導や防犯対策に努めてまいりました。本年度についても、児童生徒の安心・安全な学校生活の保障のため、より一層の支援を行ってまいります。

令和2年度は、コロナ禍の中、本町における「授業のICT化」が促進されました。小中学校教室における電子黒板の設置、指導者用電子教



科書の導入、さらに GIGA スクール構想の前倒しによるタブレット PC の児童生徒 1 人 1 台の整備がなされ、新年度から本格的な活用がはじまります。

北海道教育委員会 ICT 活用事業指針では、教育における ICT 活用について、1) 情報活用能力の育成、2) 学習指導要領における ICT 活用、3) 主体的・対話的で深い学びの実現、4) 個別最適化された学び、5) ICT 等を活用した家庭学習支援、6) 教員の業務負担軽減と子どもに向き合う時間の確保、の 6 項目が挙げられています。

電子黒板やデジタル教科書などのデジタル教材を効果的に活用し、感染症拡大による臨時休業にも対応できるよう、オンライン指導に向けた準備を進めるとともに、急速に進む授業の ICT 化の中、小中学校における ICT 活用・タブレット活用の取り組みを引き続き支援し、学校の ICT 化が「教員の業務負担軽減」と「子どもに向き合う時間の確保」につながるように進めてまいります。

各学校では、校内研究や教員研修を通じて、授業改善を図る取り組みが実施されており、さらに、全国学力・学習状況調査などの結果を分析し、各学校とも、それぞれの「学力向上アクションプラン」に反映しております。小中学校に、特別支援教育支援員、学習指導員の配置を継続し、児童の個性や能力に応じた教育を推進してまいります。

中学生を対象とした学習支援「なかがわ塾」において、引き続き、ボランティア講師のご支援、ご協力をいただきながら、生徒個々の習熟度に応じた指導を行い、生徒の高校進学への支援を進めてまいります。引き続き、「確かな学力」の育成に取り組んでまいります。

入学式直後からの長期休業、夏休みの授業の実施など、長引くコロナ禍の影響は、児童生徒に少なからず不安やストレスなどを与える結果となりました。このような児童生徒の不安やストレス、さらにいじめ防止も含め、そのような兆候を見逃さないよう、小中学校ともに学校、家庭、地域、関係機関と連携して取り組むとともに、スクールカウンセラー等の教育相談を活用し、未然防止、早期発見・解消に努めてまいります。引き続き、思いやりの心、支えあう仲間意識の教育を推進してまいります。引き続き、「豊かな心」の育成に取り組んでまいります。

各学校において実施している新体力テストの結果は、総じて全国平均を上回っている学年が多くみられますが、種目によるばらつきが認められます。新体力テストによる成果と課題を分析し、朝活動や休み時間の活用、外部講師を活用した運動プログラム、コーディネーショントレーニングを体育授業や部活動に取り入れるなど、運動能力及び体力のバランス良い向上に努めてまいります。

令和2年度より実施した「愛食弁当事業」につきましては、地元食材

及び道産食材を学びながら「楽しい食事につながる食育」の場として、さらにその機会を増やして実施してまいります。食育指導及び保健指導の充実を図り、運動能力及び体力向上の取り組みとともに、健康に対する意識と実践力を高める取り組みを進めてまいります。引き続き、「健やかな体」の育成に取り組んでまいります。

中学校の部活動については、令和2年9月の文部科学省の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」において、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとされています。スポーツ少年団、生涯学習団体、文化団体、そして「なかがわスポーツくらぶ」と連携し、学校部活動から地域部活動への準備を進めてまいります。

小中学校とともに、「コミュニティー・スクール」制度を導入し、各学校の目標・ビジョンを共有し、地域とともに、信頼される教育活動を推進しております。学校運営に関する地域の理解がさらに進み、また、地域の意見が学校運営に反映されるよう取り組んでまいります。

最後に、学校施設及び社会教育・体育施設の整備につきましては、令和2年度に策定いたしました「中川町学校施設長寿命化計画」、「中川町個別施設計画」に基づき、計画的な改修・改築に取り組み、施設の長寿命化を図るとともに、今後の多面的な活用に関して検討を進めてまいります。

以上、令和3年度の教育行政の執行に関する主要な方針と施策の概要について申し上げました。

教育委員会としましては、本町の子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、共に支えあい、持続可能な地域の担い手へと成長していくことができるよう、さらに、町民一人ひとりが生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、各種教育施策に全力で取り組んでまいります。

議会議員各位並びに町民の皆様の、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。